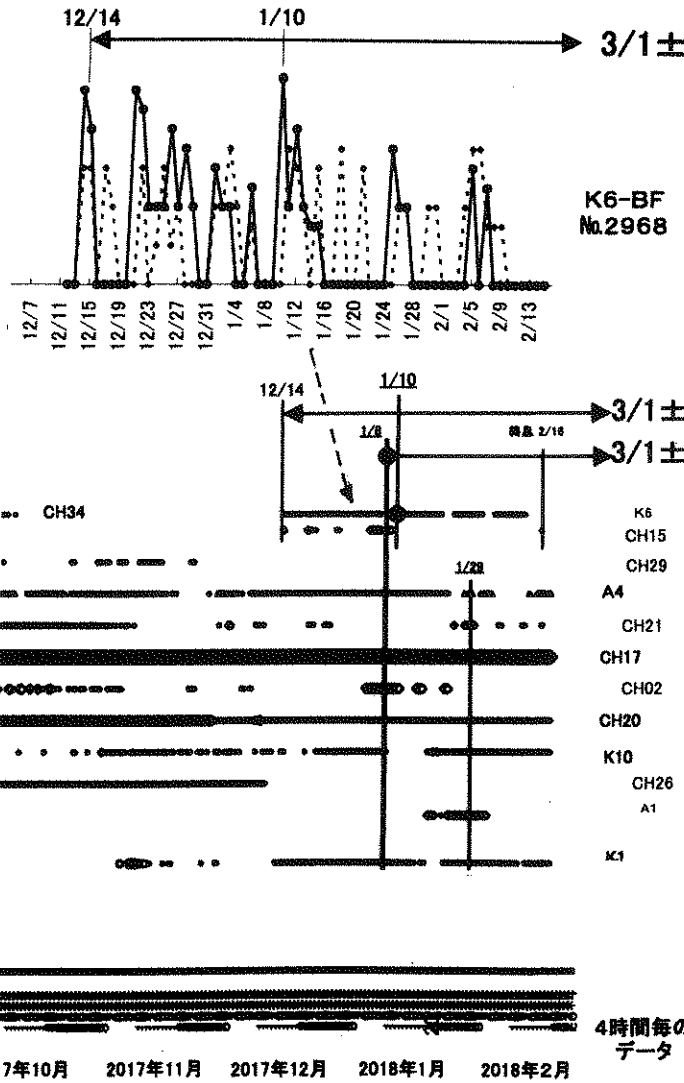


原稿校了後の前兆変化について

ハヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆 第24ステージ示す時期=早い場合でも 3/2±に修正



長期継続特殊前兆No.1778の続報、現況報告です。現在の第24ステージ前兆群の動向から、2/16.9±に終息の場合は、2/23±の可能性も示唆されていました。

しかし、本日2/17午後現在迄の前兆継続状況を鑑み、誤差を含めても、ここ一両日中に前兆が終息する可能性は極めて低い見解となりました。このため、2/23±の可能性は否定されることとなります。

あらためて第24ステージ前兆群について検討しなおし、左下図のとおり関係の可能性を考えております。

ここで、左図の12/14から出現したし、1/10に極大認識の高知観測点K6のBF前兆の出現状況から、当該前兆はNo.1778関連前兆である可能性との見解に至りました。当該前兆は函館局と伊豆局によるBFとして、群発経路則で白根山活動を示していた可能性も考えましたが、白根山噴火は火山前兆N型噴火前兆のみで、当該K6BFは最近迄前兆が出現していたこともあり、No.1778関連の可能性が考えやすい見解となりました。影響局は新居浜局+伊豆局（この場合は長野～岐阜領域を示す）または函館局+伊豆局（この場合は福島、栃木、群馬を示す）の2種の可能性が考えられます。

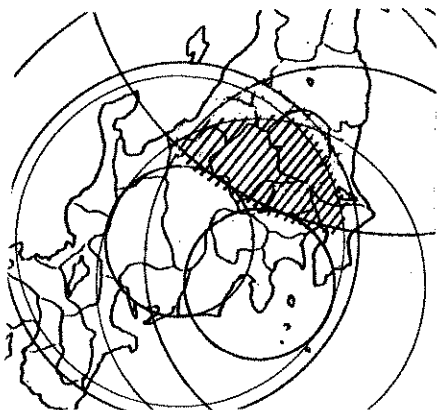
3/2±の場合=2/22±終息の可能性
2/25迄に終息しない場合は再検討

今後更に極大が出現する場合は変わりますが、現状の1/29最終極大認識が正しいのであれば、3/2±に対応地震発生となる場合は、2/22±に前兆終息が観測されることが計算できます。

誤差を考慮しても2/25±以降も前兆が継続出現する場合は、現在の認識が誤りであることとなりますので、この場合は更に検討を続けます。前兆が終息するが否か続報でご報告させていただきます。

現状、今月中に対応地震発生の可能性は否定されます。

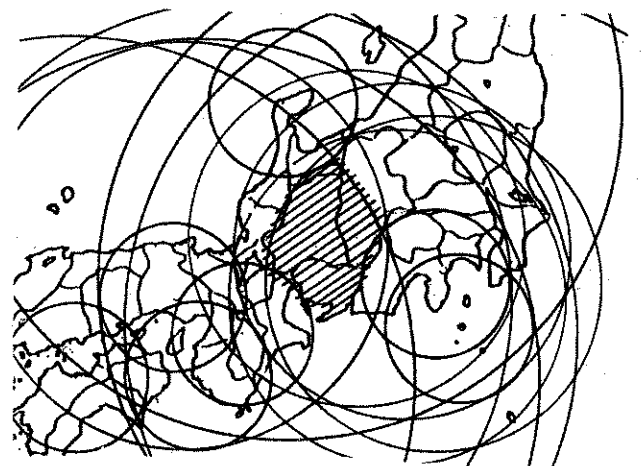
現状の計算では 3/1±を示しますが、誤差を考慮して 3/2±としておきます。



上図は影響局誤認の場合の推定領域図
但し、不整合な前兆が複数あるため、可能性は低い見解。あくまでも参考。

- 推定領域: 右図斜線域内
影響局誤認の場合は左図
- 推定規模: M7.8 ± 0.5
- 推定時期: 前兆終息後
計算予定
- 地震種: 震源浅い陸域
地殻地震

- 推定発生時刻: AM 9:00 ± 1
(又は PM 6:00 ± 3)



現状考えやすい推定領域図